

平成31年度1学期始業式 式辞

平成31年4月8日

皆さん、おはようございます。そして、進級おめでとうございます。

平成31年度の新学期、大きな事故・怪我の報告もなく、皆さんが元気に登校してくれたことをまず喜ぶたいと思います。

新3年生は最上級生になりました。今年度は義務教育の最終学年になります。一年上の先輩がそうであるように、皆さんは、一年後の今日、どこかわかりませんが、新しい場所で新年度を迎えています。一年後に、満足できる新しい場所に立てるように、この一年頑張っていきましょう。また新2年生も上級生になりました。もうすぐ入学してくる新一年生から憧れられる素敵で立派な先輩になってもらいたいなと思っています。

そこで良いスタートを切るうえで、お話をしたいと思います。

興東館柳生中学校は、学年1学級で、小学校から様々な交流をしているため非常に仲が良く、あいさつなどよくできると思います。また男女の仲もよく、みんな楽しく学校生活を過ごしていると思います。

でも、人は誰も自分が基準となります。その基準はその人の生まれた場所や環境、または過ごしてきた経験によって作られたものです。

例えば、納豆をおいしいと感じる人もいれば、おいしくないと感じる人もいます。「おいしい」「おいしくない」とお互いの感覚を押し付け合っても、それは単なる味覚の違いで意味のないことです。

人には味覚以外にも様々な感覚がありますが、この感覚も人それぞれです。しかし、あるとき人は自分の感覚を「普通」という言葉に置き換えてしまうことがあります。

この「普通」という言葉を少し考えてみましょう。さっきの味覚と同じように、ある人にとっては普通でも別の人にとっては普通でないことはよくあることです。でも、人は時として自分の普通、つまり基準を当てはめようとします。

自分の基準を他の人に押し付けていくことは、他の人の基準を認めないことにもつながり、お互いが自己主張を続けていけば対立が生まれ、時には争いやいじめにつながります。

ここで、一冊の本を紹介したいと思います。

「君たちは、どう生きるか」という本で、この本は学校の図書室にあります。私も電子図書という形で、個人のタブレットipadに入れているのですが、たった半年で200万部という爆発的な売れ方で日本中の人に読まれたマンガです。君たちの中にはもう読んだ人もいます

が、この本は、人の生き方を考える本だと思います。

- ・クラスのいじめにどう対応するか、
- ・人間同士のつながりについて
- ・貧困について
- ・友人への裏切りについて、
- ・これからの生き方について

などの明快な正解のないことを、主人公のコペル君と叔父さんが、悩みぬいて行動していく物語です。

その中で、今日伝えたいのは「コペル」君という主人公の呼び名です。コペル君とはコペルニクス。何をした人かというと、「天動説」と言っていて、昔は地球が中心で太陽とかそのほかの天体は、地球の周りを回っているという考え方だったのですが、「地動説」、私たちの地球は、太陽の周りを回っているんだよ、という考え方を言ったのがコペルニクスです。私もそうなんですが、気を抜くと、世の中は、自分を中心に回っている、自分の考えが正しくて、周りが間違ってるんだ。と決めつけて考えてしまう事、自分の間違いを認めない人が、大人でも多いんだけど、いやいや、そうではないよ、自己中心ではだめだよと教えてくれた人と私自身としてはそのように思っています。

これからだんだん大人になるにしたがって、自分中心から、世の中心というか、正しいことを中心に世の中が回っていることを学んでいきます。この本を読んで、自己中心的な考え方はだめだな、「地動説」な考え方ができればいいなと思います。まだ読んでいない人は、一度この本を読んで、また友達と話して、どのように考えて生きていくか、考えてみてはどうでしょうか？

3学期の終業式で、私は「感謝おじさんと愚痴おじさん」の話をしました。「一つの物事をどう捉えるか。」「ありがとう」と捉えるか、「辛い、疲れた」と捉えるか。

「全く同じ人生を与えられた二人なのに、捉え方や心の持ちよう、口に出す言葉。それらで、人生が大きく変わった」「どう(どのように)捉えるかが人生」という話でした。

そして、「人生の長旅に良くぶつかる“分かれ道”と“行き止まり”の2つの難関があるのなら、「どう捉えるのか」そして「どう生きるのか」ってすごく大切だと思います。

少し難しいかもしれませんが、そんなことを君たちに問いたいと思います。

さあ、新しいクラス、新しい仲間、希望にあふれた一学期です。俺が俺がと自分の考え方しか認めない天動説ではなくて、みんなの事を中心で考えられる、地動説、コペルニクスで入れたら素敵ですね。私も含めて、そんなみんなになれるように、今年一年、この一学期、頑張っていきましょう！

これで、お話を終わります。

平成31年4月8日 興東館柳生中学校長 中原 恭輔